

# Performance Editor Essential マニュアル

- 市販の音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2011-2013 Yamaha Corporation. All rights reserved.

MOTIF XF シリーズ、MOTIF XS シリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8 の設定については、楽器本体の取扱説明書をご参照ください。

## Performance Editor Essential の構成

Performance Editor Essential は、MOTIF XF シリーズ、MOTIF XS シリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8 のパフォーマンスマードにおける VOICE/ARP/EFFECT/MEQ に関するパラメーターを iPad から編集するアプリケーションです。

**Performance Editor Essential**

**Utility**画面

- デバイスナンバーの設定
- MIDI Typeの設定
- ノブの動かし方の設定
- 送受信の設定
- コントローラーアサイン
- 接続する楽器の選択



**EFFECT**画面

- Chorus画面
- Reverb画面
- Master Effect画面



**ARP**画面



**MIXING**画面



**MEQ**画面

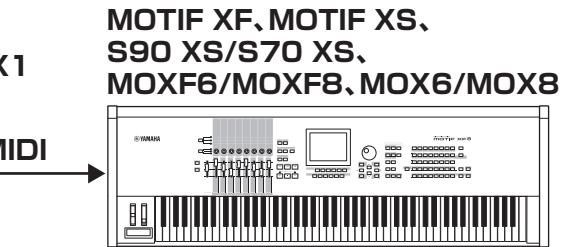


**XY CONTROL**画面

ボールをPad上で操作することにより、パラメーターチェンジやコントロールチェンジの出力を複雑にコントロールできる



- このファイルに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。



MOTIF XFはワイヤレスMIDIで接続できます。詳細は MOTIF XF Version 1.20 新機能マニュアルをお読みください。

### NOTE

- 楽器をパフォーマンスマードに切り替えてください。
- 編集したパラメーターは、楽器のユーザー銀行にストアしてください。
- Lightningコネクタを持つデバイスとi-MX1/i-UX1を接続するにはApple Lightning - 30ピンアダプタが必要です。

このマニュアルでは MOTIF XF を例にしています。接続する楽器により、画面やボタンがない場合があります。

# タイトルバーと Utility 画面

ここでは、全体に共通した設定を行ないます。



## \* テンプレートとは

VOICE/ARP/EFFECT/Chorus/Reverb/Master Effect/MEQ  
各画面の設定を一括で記憶します。この記憶データをテンプレートと呼びます。テンプレートは複数記憶することができ、それぞれに名前をつけたり、呼びだしたり、初期化することができます。

# MIXING 画面



**COMMON VOLUME**を調整します。  
スライダーをスライドさせて値を変更します。  
[−]、[+]をタップすると値の微調整ができます。

パートごとの設定パラメーターです。  
各パートは線で区切られており、  
1番上がパート1、1番下がパート4  
になります。

タップして**パートスイッチの ON/OFF**を設定します。ONのときボタンは赤色、OFFのときは灰色になります。  
ボタンの数字はパートナンバーです。

**パートボリューム**を調整します。  
スライダーをスライドさせて値を変更します。  
[−]、[+]をタップすると値の微調整ができます。

タップするとMIXING画面を終了します。

**COMMON PAN/REV SEND/CHO SEND**を設定します。  
ノブを操作すると値の調整ができます。  
値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作して値を調整することもできます。

**パートの PAN/REV SEND/CHO SEND**を設定します。  
ノブを操作すると値の調整ができます。  
値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作して値を調整することもできます。

# VOICE 画面

[RECEIVE] をタップすると楽器からデータを受信します。

**NOTE**

楽器本体が Voice with ARP=ON かつ Change Timing=ON でアルペジオが再生中、楽器本体とボイスネーム表示が一致しない場合があります。この場合、[RECEIVE] をタップすると一致します。

[TRANSMIT] をタップすると編集中のテンプレートのデータをすべて楽器に送信します。

**NOTE**

楽器本体が Voice with ARP=ON の設定で [TRANSMIT] をタップすると、楽器本体で変更された音色にボイスネームが変更されます。

タブをタップすると、アルペジオタイプが切り替わります。

パートごとの設定パラメーターです。各パートは白線で区切られており、1番上がパート1、1番下がパート4になります。

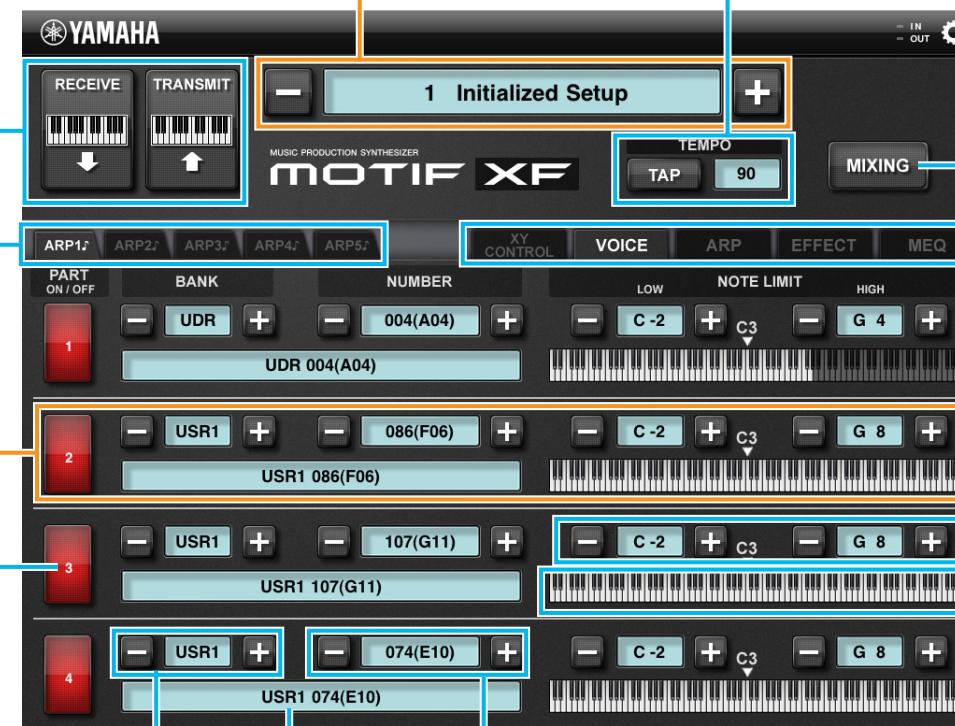
タップしてパートスイッチの ON/OFF を設定します。ON のときボタンは赤色、OFF のときは灰色になります。ボタンの数字はパートナンバーです。

ボイスバンクを設定します。両脇にある [-]、[+] をタップするとバンクが変更されます。[-]、[+] ボタン間の表示をタップするとボイス選択リストが開きます。

テンプレートネームをタップするとテンプレートリストが開きます。また、両脇にある [-]、[+] をタップして、テンプレートを変更することもできます。

アルペジオのテンポを設定します。

[TAP] を 3 回以上タップすると、タップした間隔がテンポとして設定されます。数字をタップするとスライダーが表示されます。スライダーをドラッグしてテンポを設定することもできます。



タップすると **MIXING 画面** に切り替わります。

タップするとそれぞれの画面に切り替わります。

**Note Limit Low (ノートリミットロー)、Note Limit High (ノートリミットハイ)** を設定します。

両脇にある [-]、[+] をタップすると変更されます。[-]、[+] ボタン間の表示をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーで値を調整することもできます。

**Note Limit (ノートリミット)** で選択されている鍵盤を表示します。選択されていない鍵盤はグレーアウト表示になります。

パートボイスネーム表示です。タップするとボイス選択リストが開きます。

ボイスナンバーを設定します。両脇にある [-]、[+] をタップするとボイスナンバーが変更されます。[-]、[+] ボタン間の表示をタップするとボイス選択リストが開きます。

## ボイス選択リスト

各パートボイスのボイスバンク / ボイスナンバー / ボイスネームの表示をタップすると表示されます。

左が BANK タブを選択した場合の画面、右が CATEGORY タブを選択した場合の画面。右画面は、User Voice 選択時は表示されません。

### バンク表示によるボイス選択リスト



好みのバンクをタップし、ボイス名をタップしてボイス選択します。  
VOICE (ボイス) のリストはスクロールします。

ボイス選択リストを BANK (バンク) 表示 /CATEGORY (カテゴリー) 表示どちらかに切り替えるタブ。タップすると切り替わります。ユーザー音色が選択されていると CATEGORY タブは表示されません。

### カテゴリー表示によるボイス選択リスト



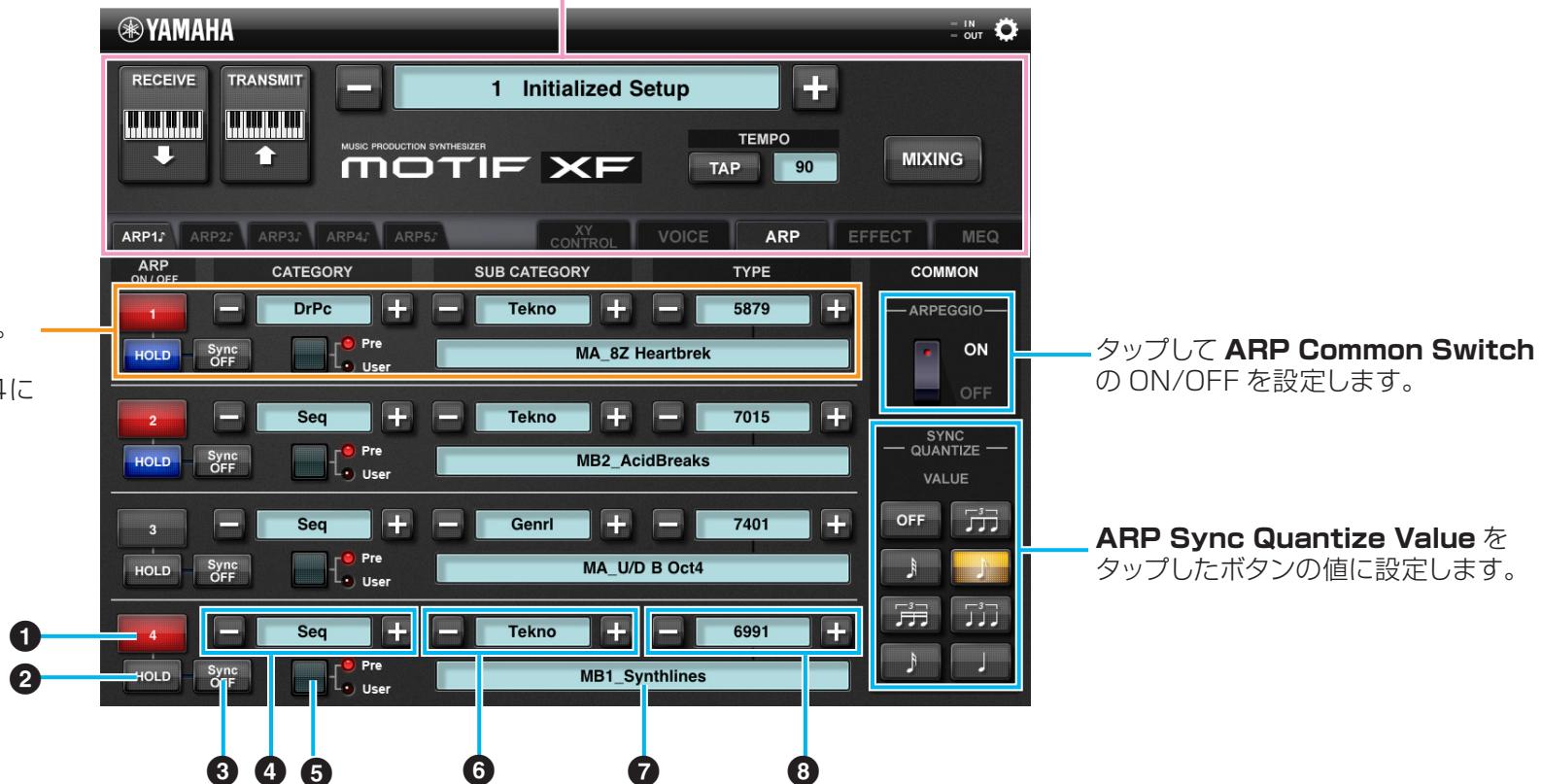
好みのメインカテゴリーとサブカテゴリーをタップした後、ボイス名をタップしてボイス選択します。  
VOICE (ボイス) のリストはスクロールします。

[DONE] をタップすると、選んだボイスを決定してリストを閉じます。  
[CANCEL] をタップすると、何もせず、リストを開いたときの音色のまま閉じます。

# ARP 画面

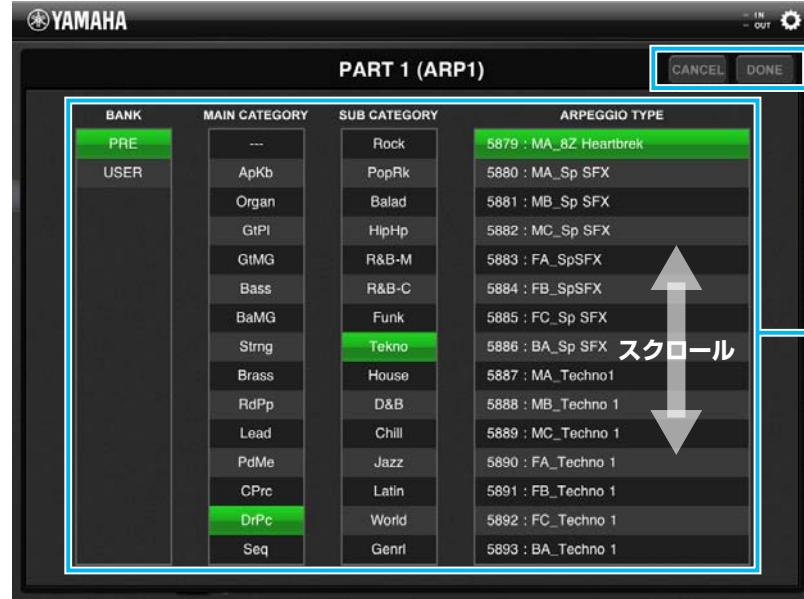
VOICE 画面と同じです。

パートごとの設定パラメーターです。  
各パートは白線で区切られており、  
1番上がパート1、1番下がパート4に  
なります。



- ① タップして **ARP Part Switch** の ON/OFF を設定します。ON のときはボタンが赤色、OFF のときは灰色になります。ボタンの数字はパートナンバーです。
- ② タップして **ARP Hold** の ON/OFF を設定します。ON のときはボタンが青色、OFF のときは灰色になります。
- ③ タップすると ARP Hold を **Sync Off** に変更します。Sync Off のときはボタンが青色、それ以外のときは灰色になります。
- ④ 両脇の [−]、[+] をタップすると、変更された **メインカテゴリー** の先頭のアルペジオタイプに変更されます。[−]、[+] ボタン間の表示をタップするとアルペジオ選択リストが開きます。
- ⑤ タップするとアルペジオタイプの **バンク** を設定します。Preset Type の場合は、Pre の LED が、User の場合は User の LED が点灯します。
- ⑥ 両脇の [−]、[+] をタップすると、変更された **サブカテゴリー** の先頭のアルペジオタイプに変更されます。[−]、[+] ボタン間の表示をタップするとアルペジオ選択リストが開きます。
- ⑦ **アルペジオタイプネーム** 表示です。タップするとアルペジオ選択リストが開きます。
- ⑧ 両脇の [−]、[+] をタップすると、**アルペジオタイプナンバー** が変更されます。[−]、[+] ボタン間の表示をタップするとアルペジオ選択リストが開きます。

## アルペジオ選択リスト



[DONE] をタップすると、選んだアルペジオタイプを決定してリストを閉じます。

[CANCEL] をタップすると、何もせず、リストを開いたときのアルペジオタイプのまま閉じます。

バンクとメインカテゴリー、サブカテゴリーをタップした後、アルペジオタイプ名をタップして選択します。

リストはスクロールします。

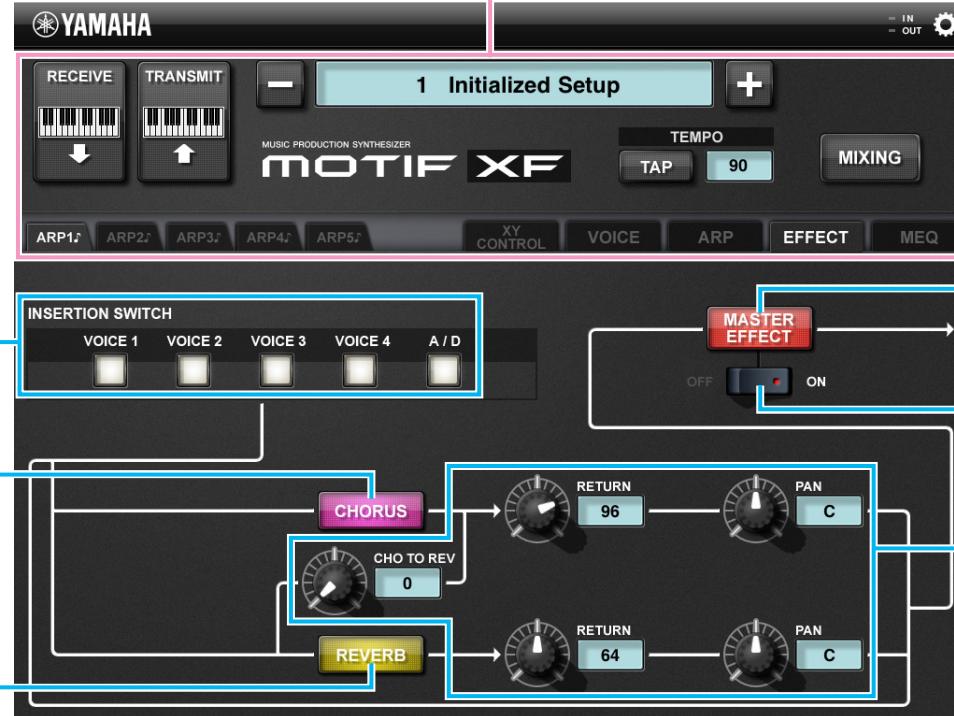
# EFFECT 画面

VOICE 画面と同じです。

パートごとのインサーションスイッチ  
ON/OFF をタップして設定します。

タップすると Chorus 画面に  
切り替わります。

タップすると Reverb 画面に  
切り替わります。



タップすると Master Effect 画面に  
切り替わります。

Master Effect の ON/OFF を設定  
します。

ノブを操作して該当パラメーターを  
調整します。  
それぞれのパラメーター値をタップす  
るとスライダーが表示されます。  
そのスライダーを操作して調整するこ  
ともできます。

# Reverb/Chorus/Master Effect 画面

Reverb/Chorus/Master Effect 画面は同じレイアウトです。



タップすると EFFECT 画面に戻ります。

## エフェクトタイプセレクト

エフェクトタイプを選択します。CATEGORY/TYPE/PRESET 名をタップするとリストが表示されます。CATEGORY/TYPE/PRESET 名の両脇にある [-]、[+] をタップしても、変更することができます。

## エフェクトリスト

リストで CATEGORY > TYPE > PRESET の順に選択します。



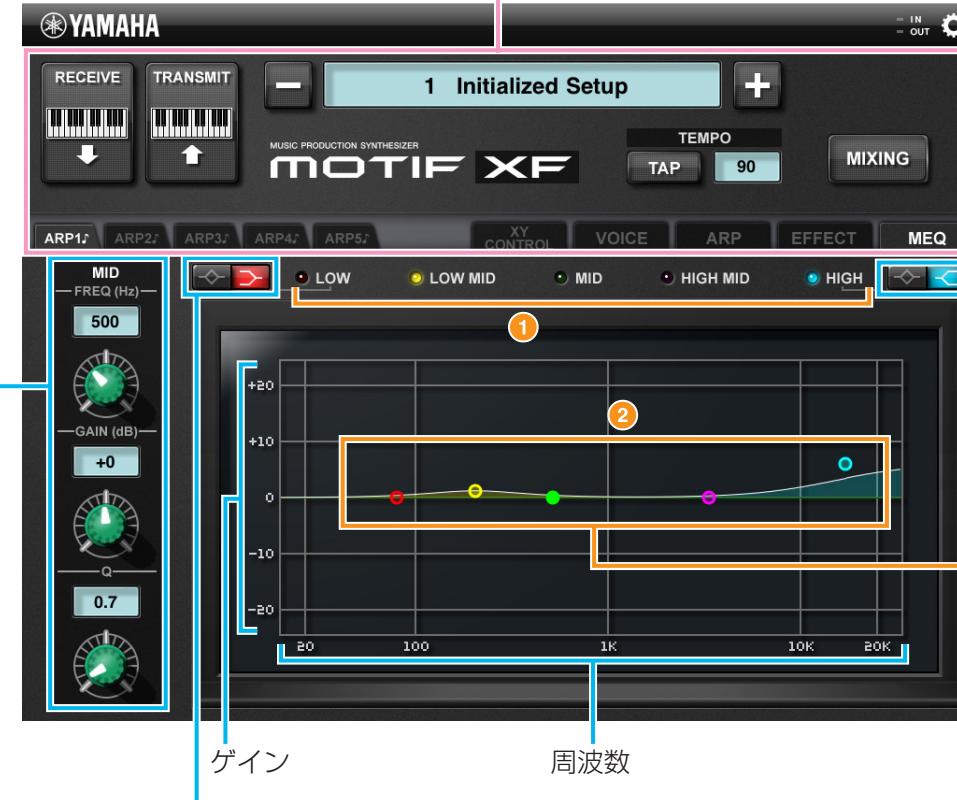
## エフェクトパラメーターエディット

調整したいパラメーターのスライダーをドラッグして値を調整します。  
両脇にある [-]、[+] をタップすると値を微調整できます。

画面を上下にドラッグするとパラメーターがスクロールします。

# MEQ 画面

VOICE 画面と同じです。



① または ② で調整したいバンドをタップします。バンドが選択されると、ノブの色が選択したバンドの色に変化します。バンドを選択したら、ノブを操作してパラメーターを調整します。値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作して値を調整することもできます。

HIGH をピーキングにするかシェルビングにするかをタップして設定します。左がピーキング、右がシェルビングです。

各バンドのゲインおよび周波数は、グラフ上で、バンドに対応した色のドットをドラッグすることにより調節できます。

# XY CONTROL 画面

この画面では、表示されている Pad をなぞるだけで複数のパラメーターの出力を複雑にコントロールできます。楽器を演奏しながら、表示されている Pad をなぞると、複雑な音の変化を楽しめます。

VOICE 画面と同じです。



## コントロールパラメーターの設定

両脇の [−]、[+] ボタンをタップすると、コントロールするパラメーター名が変更されます。[−]、[+] ボタン間にあるパラメーター表示をタップすると、パラメータリストが表示されます。リストのパラメーター名をタップすると、コントロールするパラメーターが設定されます。

## コントロールパラメーターの出力値の設定

Pad 上でのボールの水平方向 / 垂直方向のどちらの位置情報をパラメーター値として出力するかをタップして設定します。選択されている側の文字が白色で表示されます。

X: Pad 上の **水平方向** 位置をパラメーター値として出力する。

Y: Pad 上の **垂直方向** 位置をパラメーター値として出力する。

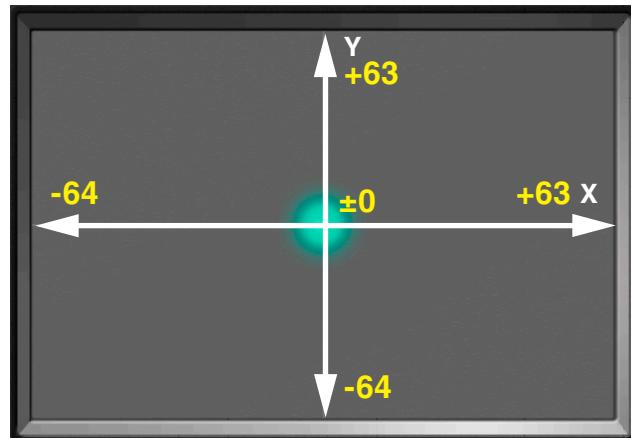
## パラメータリスト



## ボールの位置と出力されるパラメーターの値との関係

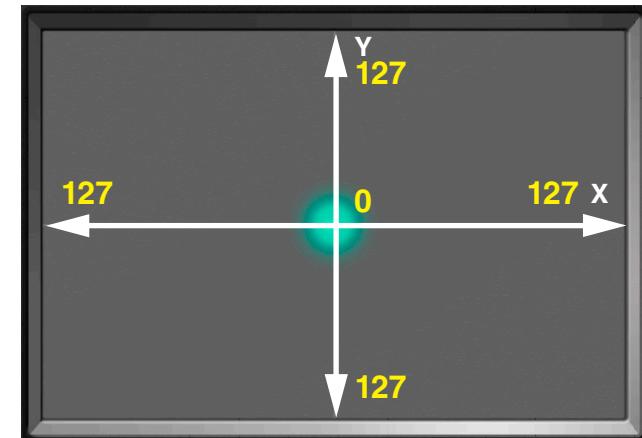
ボールが動くと、Pad 上での位置に応じて、CONTROL 1～5 にセットされたパラメーターの、値に対応するパラメーターインジまたはコントロールインジが楽器に送信されます。送信される値はパラメーターによって以下のように異なります。

Pan など、パラメーターの値が -64～+64 の場合



黄色の数字がそれぞれの位置での  
パラメーターの出力値

Volume など、パラメーターの値が 0～127 の場合



対象パラメーター	出力フォーマット
AEG Attack	Common AEG Attack パラメーターのパラメーターインジ
AEG Decay	Common AEG Decay パラメーターのパラメーターインジ
AEG Sustain	Common AEG Sustain パラメーターのパラメーターインジ
AEG Release	Common AEG Release パラメーターのパラメーターインジ
FEG Attack	Common FEG Attack パラメーターのパラメーターインジ
FEG Decay	Common FEG Decay パラメーターのパラメーターインジ
FEG Release	Common FEG Release パラメーターのパラメーターインジ
FEG Depth	Common FEG Depth パラメーターのパラメーターインジ
Cutoff	Common Cutoff パラメーターのパラメーターインジ
Resonance	Common Resonance パラメーターのパラメーターインジ
Pan	Common Pan パラメーターのパラメーターインジ
Assign 1	Utility 画面 Controller Assign で Assign 1 に設定されているコントロールインジ
Assign 2	Utility 画面 Controller Assign で Assign 2 に設定されているコントロールインジ

対象パラメーター	出力フォーマット
Volume	Common Volume パラメーターのパラメーターインジ
Reverb Send	Common Reverb Send パラメーターのパラメーターインジ
Chorus Send	Common Chorus Send パラメーターのパラメーターインジ
Foot Controller 1	Utility 画面 Controller Assign で Foot Controller 1 に設定されているコントロールインジ
Foot Controller 2	Utility 画面 Controller Assign で Foot Controller 2 に設定されているコントロールインジ
A.Function 1	Utility 画面 Controller Assign で A.Function 1 に設定されているコントロールインジ
A.Function 2	Utility 画面 Controller Assign で A.Function 2 に設定されているコントロールインジ
Breath Controller	Utility 画面 Controller Assign で Breath Controller に設定されているコントロールインジ

※パラメーターインジの詳細は楽器本体の取扱説明書をお読みください。